

# パンチングバルーン

# 取扱説明書

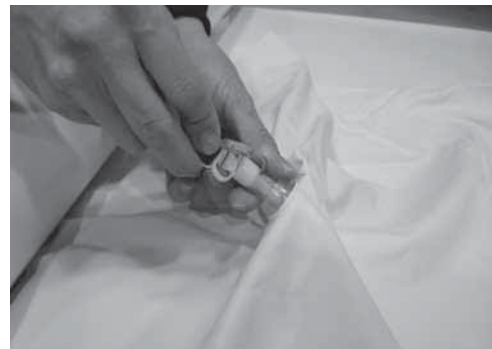
■パンチングバルーンの膨らまし手順 . . . . . ※この取扱説明書を、必ずお読み下さい



①本体を袋より取り出し、本体底面の水注入口（図 1）よりホースを差し込み水を注入します。  
（水の量は最大で約 5ℓ 入りますが、使用の用途に合わせて量の調整してください。あまり水を入れ過ぎないように注意してください。）



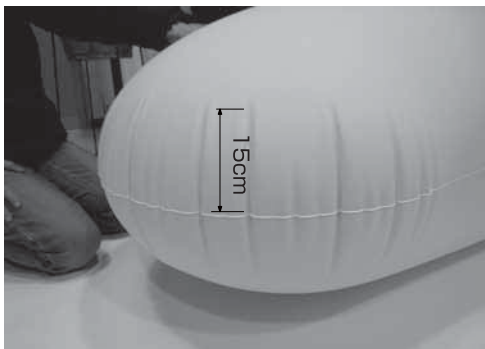
②水を注入後、しっかりと蓋を閉じてください。  
（注入後、水注入口を下面にします。その際砂、砂利等突起物の上には直に置かないようにしてください。）



③本体側面のエア注入口（図 2）にエア注入具の先端をしっかりと差し込みます。



④本体のエア注入口よりエアを注入します。  
（※その際にエアをあまり充填し過ぎないように注意してください。）



⑤本体の膨らましは上記画像のしわを目安にしてください。  
（片面約 10cm～15cm「しわ」が残る程度が目安です）



⑥エア注入口の蓋をしっかりと閉じてください。  
（エア注入口の蓋がしっかりと閉じていない場合はエア漏れの原因になります。）

## ⚠️ ご注意 バルーンの取扱について !必ずお読み下さい . . . . .

### 塩ビ製パンチングバルーンの取扱い注意

※本製品は 0.3mm の塩化ビニールによって成形されています。

1. 火気及び鋭利なものや突起しているものに当たると穴が空いてしまうことがあります。
2. エア充填時や充填後の移動には十分注意して下さい。
3. 本体に水を注入した状態で移動の際は絶対に引きずらないようにしてください。
4. 本体の収納の際には必ず水を抜いてから収納してください。
5. 本体に小さな穴が空いてしまった場合は応急処置として透明ビニールテープを目立たない程度の大きさに貼って下さい。
6. エアを充填する場合、コンプレッサー等で行う場合は、あまり圧力を上げないでください。バルーンが破れたり穴が空いてしまう事があります。

※本製品にはラミネート加工が施されています。収納時には水気を無くして畳んでください。状況によってはラミネート面が貼りつく場合があります。



図 1. 水注入口  
※本体底面



図 2. エア注入口  
※本体側面

